

産科 婦人科 漢方
浮田医院
だより



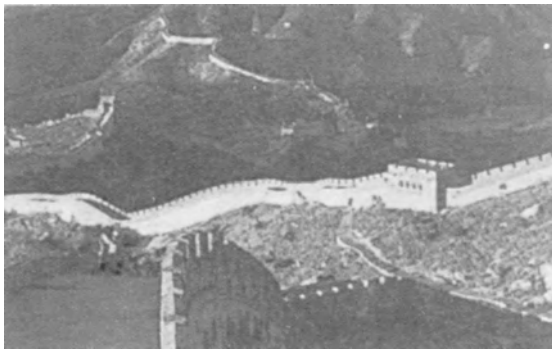
第 11 号
発行所：産科 婦人科 漢方
浮田医院
〒520-1214
滋賀県高島郡安曇川町末広3丁目28
TEL 0740-32-3751
FAX 0740-32-3795
発行日：平成11年1月5日(火)
発行者：浮田 徹也



漢方薬のよさ (11) 血熱 (ほてり) I

明けましておめでとうござい
ます。
本年も、昨年同様、当院での
治療を安心してお続け下さい。
きめ細かくお世話いたします。
湿度が低くなってきたせいか、
心配や不安事が多いためか、昨
年11月末より、肌の乾燥を訴え
る方が続出しているように思わ
れます。肌の毛細血管が細くなっ
て、皮膚を流れる血液が減少す
れば、皮膚の栄養状態が悪くな
り、肌荒れ、ひび割れ、あかぎ
れ、しもやけ・・・がで易く
なります。肌の血行が悪くなる
と、当然、五臓六腑（肝心脾肺
腎、胆小腸胃大腸膀胱三焦）を
流れる血液循環も悪くなり、十
分に流れることのできない血液
が、体の中に停滞し、淀みが生
じてきます。この淀みが長く続
くと、腫瘍ができたり、頑固な

痛みが発生する原因になります。
循環不全が長期間続いて、体に
熱感が生じ、出血しやすくなっ
た病態を「血熱」と呼びます。
この「血熱」になると、出血し
易く、子宮出血、鼻出血、咯血、
吐血、血便、血尿が現われ、顔



万里の長城



も赤くほてり、目が充血し、唇
が赤く、口咽が渴き、体に熱感
を感じ、赤い発疹や蕁麻疹が生
じたり、手の平や足の裏がほて
って、布団の中でじっとできない
程、心がイライラしてきます。
血圧が高くなったり、頭痛がし
たり、手の平や足の裏に、膿疱
や紅斑が現われる方もおられま
す。日本の漢方では、「煩熱」
とも呼ばれますが、手の平も足
の裏も熱くほてり、居ても立っ
てもおられず、落ち着けないこ
とが特徴です。
「血熱」（煩熱）は、産後、
不妊症、アトピー性皮膚炎、自
律神経失調症、口内炎、夏まけ、
頭痛、更年期障害、不眠症、吐
血、下血、蕁麻疹、水虫、しも
やけ・・・などの時に、同時に
現われることがあります。
では、実例を挙げてご説明し
ましょう。
36歳の女性、5年前のお産後
より、不眠、頭痛、口渇、月経
痛がひどくて、毎日つらい思い
をしています。体格は中程度、
お腹の力は普通で、臍の両側に
軽い抵抗を触れ、舌は暗紫色、





乾燥した黄苔が見られました。手の平と足の裏は、熱くザラザラしていました。よく聞いてみると、特に夜は、手の平も足の裏もほてって気持ち悪くなかなか寝られないそうです。三物黄芩湯という漢方薬で手足のほてりや不眠がなくなりました。

44歳男性、6月頃から次第に疲れやすくなり、食欲不振、寝汗、眠気で苦しむようになったと訴えて来院されました。体格は細身で、胸脇部（肋骨弓の真下）に軽い抵抗を認め、みぞおちを軽く叩くと、ジャブジャブ音がし、臍の上に動悸を触れました。下腹部は軟らかくフワフワしていました。8月終り頃には、ますます食欲がなくなり、口が渴いて水気のものばかり口にするようになりました。寝汗もひどく、手の平も足の裏もほてって熱く、なかなか寝付けなくなりました。舌は淡白色で、湿った薄白苔が見られました。脈は、大きくゆったりしていました。がちよっと押さえると直ぐに消えてしまう、洪大、と言う脈でした。この方も、血熱ですが、前の方と異なり、すこく体力が衰えた、虚証でしたから、補中益気湯を飲んで頂きました。すると、次第に気力、疲労、食欲、寝汗、眠

気が減って、手足のほてりもなくなっていました。

68歳女性、15年前から、高血圧症（170/150/110/90）のため、降圧剤を飲んでおられます。最近、手の平、足の裏や顔がほてり、咳にも悩むようになり、十分に眠れなくなると訴えて来院されました。お腹は弾力性があり、みぞおちに抵抗はありませんでしたが、つかえた感じを言われました。臍の上に軽い動悸があり、下腹部は、上半身と比べると弱く感じられました。赤ら顔で、3/6日に1回排便、食欲良好でした。舌は紅色で、乾いた黄苔が見られ、脈は速くしっかりとっていました。三黄瀉心湯と六味丸と言う漢方薬を飲んで頂くと、色々な症状が減ってきました。血圧も次第に下がり、降圧剤の量が減りつつあります。

寒い時節ですから、風邪などおめしになりませんように！
診察室でお会いしましょう。

「院長」



高血圧の方へ

【動脈硬化】（午前中の頭重感や頭痛）【自律神経失調症】（情緒不安）【胃腸虚弱】【月経不順】【月経過多】【月経過少】【肩凝り】【冷え症】と関係する高血圧症に、漢方薬は効果的で、頭重感、頭痛、イライラ感、月経異常、肩凝り、冷え症・・・などの不快な症状がなくなるにつれて、血圧も徐々に下がってきます。

もちろん、脳血管障害、心臓病、腎臓病、・・・などに関係する高血圧もありますから、心配な方は、十分に検査を受けて下さい。

漢方薬治療を希望される方、ご相談下さい。



慢性扁桃腺炎の方へ

【鼻炎、蓄膿症】【肩凝り】【自律神経失調症】（情緒不安）【胃腸虚弱】と関係する慢性扁桃腺炎に、漢方薬は効果的で、鼻づまり、頭重感、肩凝り、イライラ感、疲労感、腹痛・・・などの不快な症状も同時になくなります。漢方医学的には、【肝】【脾】【肺】【腎】を調整します。手術が必要かどうかは、耳鼻科専門医にご相談下さい。漢方薬治療を希望される方、ご相談下さい。



当院の漢方治療のお知らせ



剤型について

- ・エキス漢方：エキス顆粒の漢方薬（大部分“粉薬”、一部錠剤）。携帯に便利です。
- ・煎じ薬：お茶の様に煮て作ります。必要な生薬を組合せて“漢方薬”を作ります。

当院のエキス漢方は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかり蓋をして下さい。それでも、湿める場合、冷蔵庫で保管して下さい。漢方薬が湿りやすい場合、当院の“漢方専用容器”（無料）をご利用下さい。

適応症について

- ・すべての疾患に適応できます。便秘、頭痛、肩凝り、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ痛み、動悸、ほてり、排尿障害・・・などあらゆる症状に対応できます。
- ・漢方薬のよく効く疾患
アトピー性皮膚炎、更年期障害、肩凝り、腰痛、便秘症、子宮内膜症、生理痛、冷え症、子宮筋腫、低血圧症、過敏性大腸炎、慢性肝炎、慢性疲労、めまい、頭痛、下痢、風邪、肥満、慢性膀胱炎、夏ばて、慢性中耳炎、慢性副鼻腔炎、慢性扁桃腺炎、前立腺肥大、蕁麻疹、接触性皮膚炎、帯状疱疹後神経痛、神経痛、膝関節症、虚弱児、クーラー病、切迫流産、切迫早産、妊娠中毒症
- ・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患
高血圧症、アレルギー性鼻炎、糖尿病、骨粗鬆症、痔、肝硬変、肝臓癌、喘息、腎炎、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗癌剤使用時倦怠感、関節リウマチ・・・・・・・・

エキス漢方と煎じ薬について

- ・軽症の病気：漢方製剤（エキス顆粒）を組合せて治療します。
- ・中程度の病気：漢方製剤と単味の生薬エキス顆粒を組合せて治療します。
- ・重症の病気やエキス顆粒無効の場合
煎じ薬を使います。より細やかに治療できますので、治療効果も優れています。オーダーメイド漢方ですから、エキス漢方と比べ、より優れた効果が発揮されます。

女性の方に限らず、男性の方や子供の方もご相談下さい。

問診、望診（舌診）、聞診、切診（腹診と脈診）の東洋医学的診断法（四診）や検査（超音波、血液、尿、便、心電図、骨塩量測定・・・・・・・・）などを利用して、“漢方薬”の決定をします。

院長の講演会

- ・1月21日(木)：“咽痛の漢方治療”（医師、薬剤師）
第40回滋賀漢方懇話会（ホテルロイヤルオーク滋賀）
- ・1月30日(土)：“日本東洋医学会関西支部役員会”（大阪）
- ・3月18日(木)：“更年期障害の漢方治療”（医師、薬剤師）
第41回滋賀漢方懇話会（ホテルロイヤルオーク滋賀）

漢方入浴剤

お風呂で、漢方薬草風呂としてご利用下さい。
美芳湯：冷え症、湿疹、あせも、にきび
昇竜湯：神経痛、腰痛、肩凝り、疲労回復
症状に応じた【漢方薬草剤】もお作りします。

レシート及び領収書の保管

レシート及び領収書の再発行はいたしません。
大切に保管して下さい。

当院のホームページ

ホームページができました。

“処置診”

処置、検査、点滴、針の場合【受診者名簿】の【処置診】の欄に、【氏名】をお書き下さい。

皮肉針

針の長さは1～2mmで、刺す時の痛みはありません。
お気軽にご相談下さい。
[適応] 肩凝り、腰痛、神経痛、筋肉痛・・・

骨量測定

極少量のX線吸収を利用し（DEXA）、1分で測定できます。結果は、直ぐにお渡しします。
骨量の心配な方、お申し出下さい。

駐車場

- ・北駐車場（日曜・祭日・祝日：終日閉鎖）
月・水・金：午前8:30～夕方診終了まで
火・木・土：午前8:30～午前診終了まで
- ・東、南駐車場：終日駐車可能

前期と中期－母親教室のお知らせ

日時：2月9日(火) 4月20日(火)
 対象：妊娠7ヶ月までの方(定員5名)(無料)
 場所：当院1階
 予定：薬と病気(院長) : 午後1:30～1:55
 : 軽体操(助産婦・看護婦): 午後2:00～2:15
 : 食事と栄養(栄養士) : 午後2:20～2:45
 : ティータイム : 午後2:50～3:05
 : 妊娠生活(助産婦) : 午後3:05～3:30

お気軽にご参加下さい。ご主人も一緒に参加されませんか？
 申し込み方法：申し込みノートにご予約ください。

後期－母親教室のお知らせ

日時：1月12日 26日 2月16日 3月2日(火)
 対象：妊娠8～10ヶ月の方(定員5名)(無料)
 場所：当院1階
 予定：入院時期と準備 : 午後1:30～1:50
 : 分娩の経過 : 午後2:00～2:25
 : ラマーズ法教室 : 午後2:30～2:55
 : ティータイム : 午後3:00～3:15
 : 病棟案内 : 午後3:20～3:25
 : 記念撮影(後日お渡し): 午後3:25～3:30

皆様方のご希望に答えて、後期母親教室の回数をできるだけ月2回にいたします。

母親教室と産後の集いティータイム

今月は“ガレント・デ・ロア” (フランスのパイ) と言うケーキと“うさぎちゃん” (おまんじゅう) と言う和菓子です。

“ガレント・デ・ロア”は、クリスマスから新年の間に食べるパイで、アーモンドクリームの中にメダルを隠して焼きます。パイを切った時、メダルの入ったピースをもらった人は、その日の、女王様に扮して皆に命令してもいいそうです。ですから、“王様の冠”と言う名前がついています。一年の始まりの“運だめし”にお召し上がり下さい。

“うさぎちゃん”は、今年の干支のうさぎにちなんだおまんじゅうです。お抹茶と一緒にどうぞ。



外来診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
午 前	一般外来	妊婦外来	漢方外来	漢方外来	妊婦外来	一般外来	—
夕 方	更年期外来	—	不妊外来	—	漢方外来	—	—

午前の診療(月～土)：午前9:00～正午

夕方の診療：午後5:30～午後7:30

火曜日の午前診療：午前11:00～正午:産後検診(新生児,母親)、乳児健診を優先いたしますので、ご了承下さい。

水曜日の夕方診療：妊娠中の方の定期健診はご遠慮下さい。急患の場合は、この限りではありません。

漢方外来・一般外来：男性の方、女性の方、子供、どなたでもお越しください。

入院食

厨房のスタッフが心をこめてお作りします。皆様方に安心して食べていただけるよう、塩分、糖分、カロリーに気をつけ、素材は十分に吟味し、薬膳料理も取り入れています。

第5回妊婦のための料理教室

日付：平成11年2月2日(火) 時間：午前10時～午後2時
 対象：妊娠中の方(無料) 献立：ミニフランス料理

従業員募集

看護婦、助産婦、看護補助、受付(医療事務免許必要)、清掃勤務の方で、常勤あるいはパート勤務できる方、ご連絡下さい。

面接：随時、各種保険加入、賞与：年2回、交通費支給

赤ちゃんのビデオ撮影

院長の説明とバックミュージックが録音されます。ご希望の方は、【受付】にお申し出下さい。

立合分娩ご希望の方

前もって、【受付】にお申し出下さい。

赤ちゃん健診(2と3カ月)

赤ちゃんの2カ月健診、3ヶ月健診もしています。
 日時：毎週火曜日、午前11時～正午(2000円)

産後の集い

【お母さんと赤ちゃんの相談】のための時間です。

【手作りケーキとお菓子】もお楽しみ下さい。

日時：1月19日(火)、2月23日(火) 午前11:00～午後12:30

申込：申込ノートにご予約下さい。定員：5名(無料)